

神奈川県行政不服審査会 年次報告（令和3年度）

令和4年4月13日

神奈川県行政不服審査会

令和3年度の審査請求件数

■ 令和3年度審査請求件数 (事務局で把握している知事部局での件数)

194件

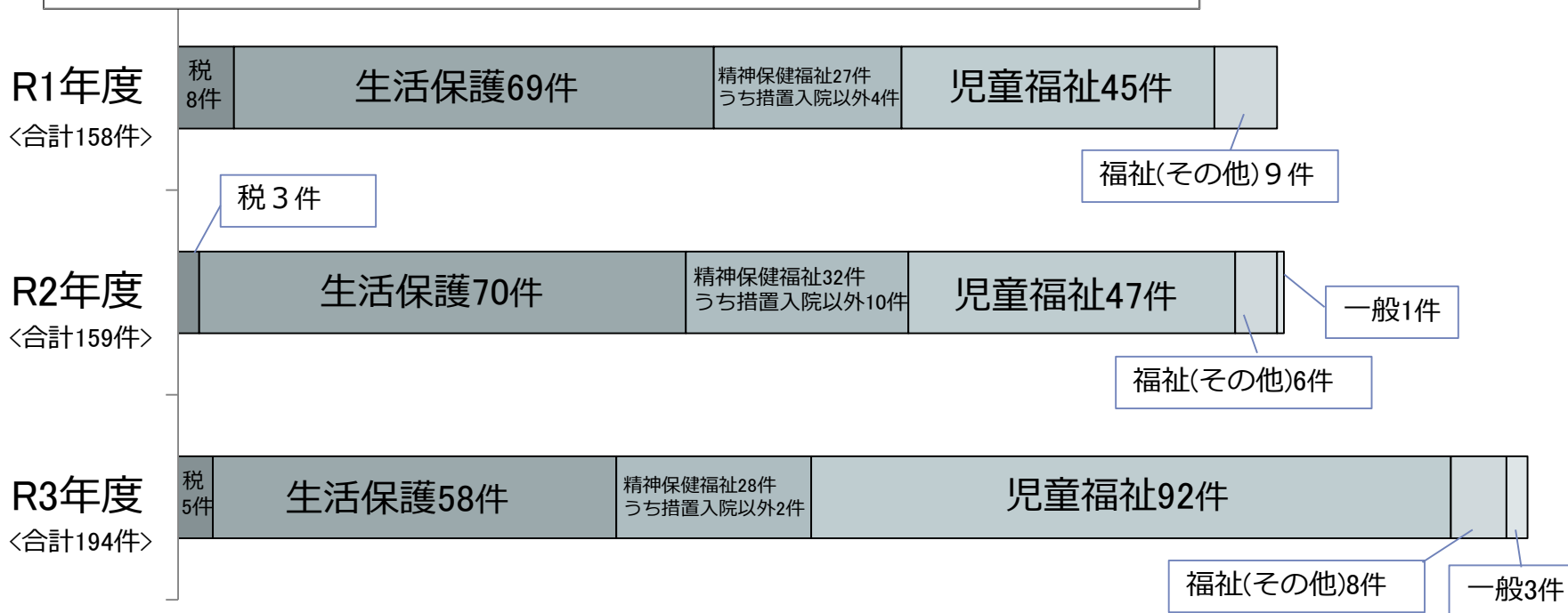
	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全体件数	124件	152件	368件	254件	328件	194件
基準改定案件件数	－	－	231件	96件	169件	－
基準改定以外の件数	124件	152件	137件	158件	159件	194件

■ 概要

- 基準改定関係分を除いた件数は、新制度発足後、最多を更新

分野別審査請求件数

【分野別件数】（基準改定に伴う大量請求を除く）



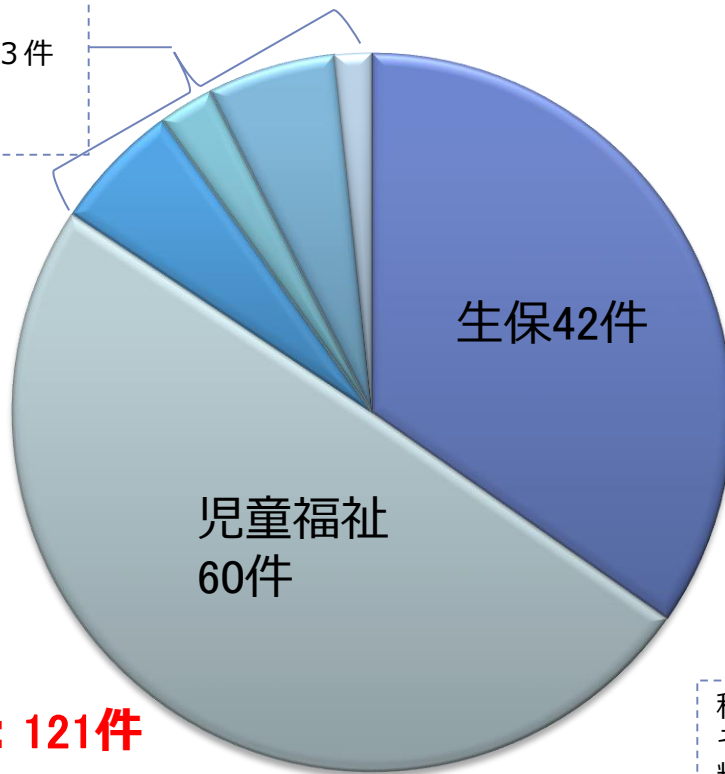
■ 分析

- 生活保護と児童福祉の審査請求が高い割合を占める
- 児童福祉が生活保護を逆転

相談件数（基準改定案件を除く）

R3年度相談案件分野別件数

税 7 件
 その他福祉 3 件
 精神 7 件
 一般 2 件

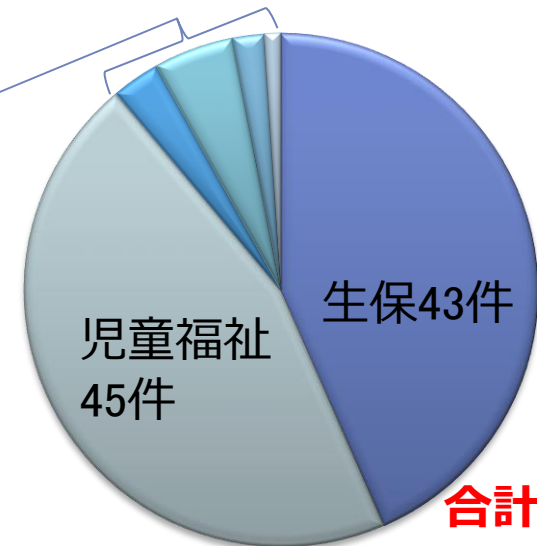


合計：121件

- ・生活保護：34.7%
- ・児童福祉：49.6%
- ・その他：15.7%

（参考）R2年度相談案件分野別件数

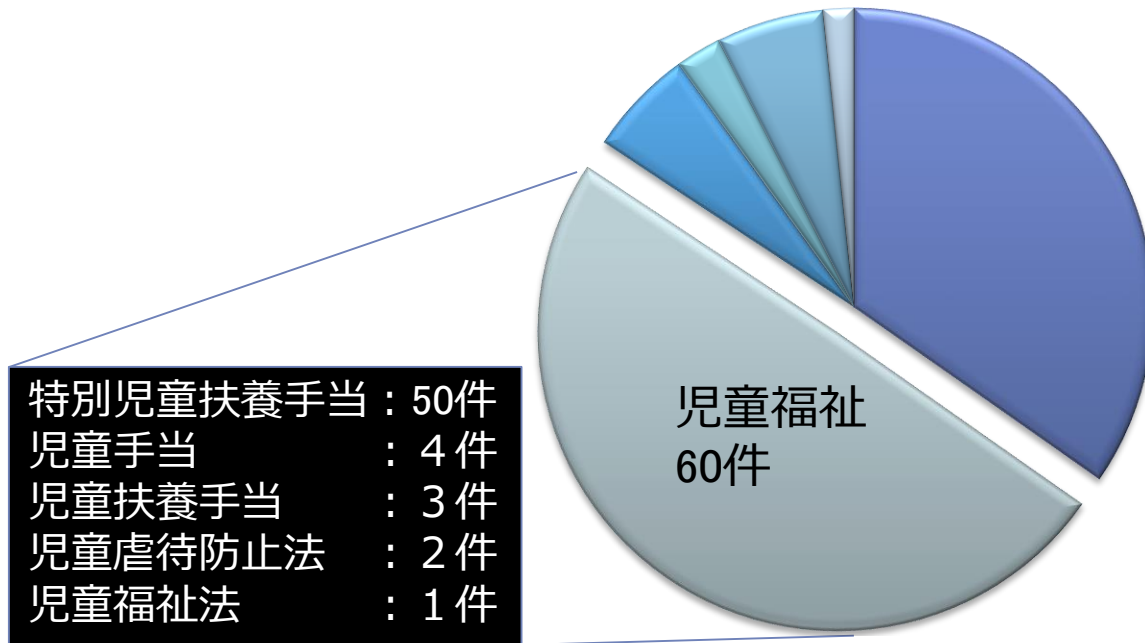
税 3 件
 その他福祉 5 件
 精神 2 件
 一般 1 件



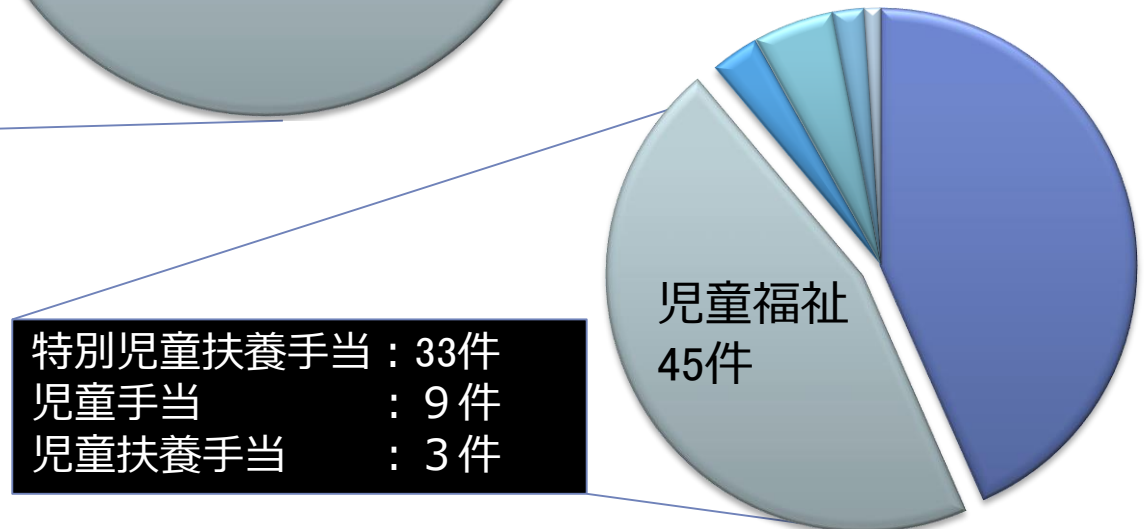
合計：99件

- ・生活保護：43.4%
- ・児童福祉：45.5%
- ・その他：11.1%

R3年度諮問案件分野別件数

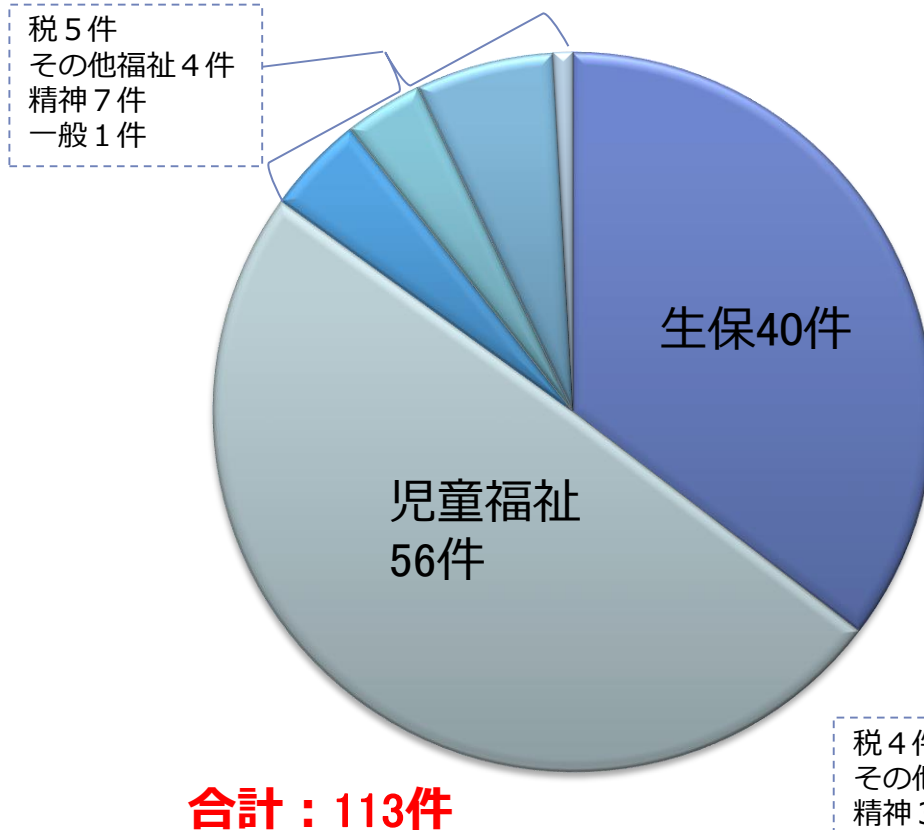


(参考) R2年度諮問案件分野別件数

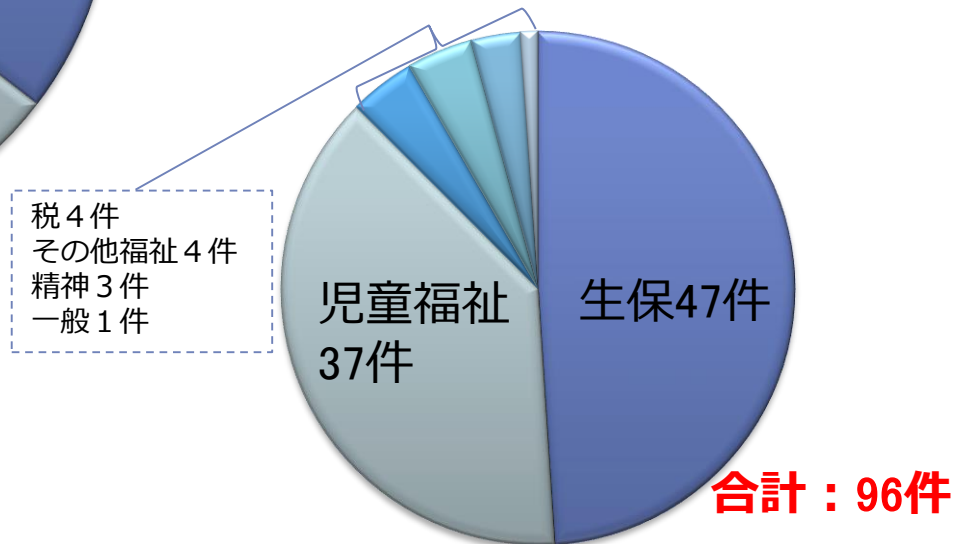


答申件数（基準改定案件を除く）

R3年度答申案件分野別件数



（参考）R2年度答申案件分野別件数



答申 処理状況

■ 年度ごとの処理状況

	繰越	諮問	答申	取下げ等	未処理
R1年度	22件	82件	83件	2件	19件
R2年度	19件	99件	96件	1件	21件
R3年度	21件	121件	113件	2件	27件

■ 答申までの期間

年度	件数	諮問～1回目審議（平均日数）	1回目審議～答申（平均日数）	総計（諮問から答申までの平均日数）	1案件平均審議回数
R1年度	83件	33.2日	29.0日	62.2日	2.0回
R2年度	96件	67.0日	24.8日	91.8日	1.6回
R3年度	113件	61.8日	12.1日	73.9日	1.3回

答申 結論集計

■ 年度ごとの答申の状況（結論）

	R1年度	R2年度	R3年度
全部認容	3件	5件	2件
一部認容 一部棄却	－	1件	－
一部認容 一部却下	－	－	1件
全部棄却	74件	88件	110件
一部却下 一部棄却	4件	2件	－
全部却下	2件	－	－
総件数	83件	96件	113件
認容率 (全部認容/総件数)	3.6%	5.2%	1.8%

答申内容の分析

■ 全部認容案件の概要

事件番号	部会	意見書結論	諮問結論	答申結論	事案概要
R2-94	第1部会	認容	棄却	認容	<p>請求人は、保護開始時に冷蔵庫を所有していなかったことから、冷蔵庫を購入するための家具什器費の支給を内容とする保護変更申請を行った。</p> <p>処分庁は、従前から、他の物品に係る家具什器費を支給しており、これにより一般基準限度額に達していることから、保護変更申請却下処分を行い、これに対して、当該処分の取消しを求める審査請求が提起された。</p> <p>審理員は、冷蔵庫の普及度合、自炊のための有効性、盛夏における冷蔵庫の必要性に鑑み、特別基準までの支給を認める「真にやむを得ない事情」があるとして認容意見を提出したが、審査庁は保護開始から3か月程度経過していることなどを理由として、棄却の考えを示して諮問を行った。</p> <p>審査会は、審理員の意見を支持し、認容答申を行った。</p>
R2-102	第1部会	棄却	棄却	認容	<p>請求人は、保護開始時に一般基準額を超える家賃のアパートに居住していたが、高齢や病状等から転居が困難であることを理由として、特別基準額による住宅扶助費が認定されていた。</p> <p>その後、請求人は隣人による騒音を理由として、前居と同額の家賃の別アパートに転居したが、処分庁は、転居困難だからこそ、これまで特別基準額を適用してきたとして、住宅扶助費を一般基準額まで引き下げる保護変更決定処分を行い、これに対して当該処分の取消しを求める審査請求が提起された。</p> <p>審査会では、特別基準額が適用される要件のうち、「転居困難」以外のものに該当するかについて、処分庁において検討されていないことから、認容答申を行った。</p>

■ 審理員意見書の修正状況

	件数
意見書修正なし	48件
意見書を修正（結論変更無）	63件
意見書を修正（結論変更有）	2件

第1部会活動状況

	R1年度	R2年度	R3年度
開催回数	15回	11回	13回
配てんされた件数	22件 ^(5件)	30件 ^(2件)	33件 ^(7件)
答申件数	25件	28件	35件
次年度繰越件数	2件	4件	4件

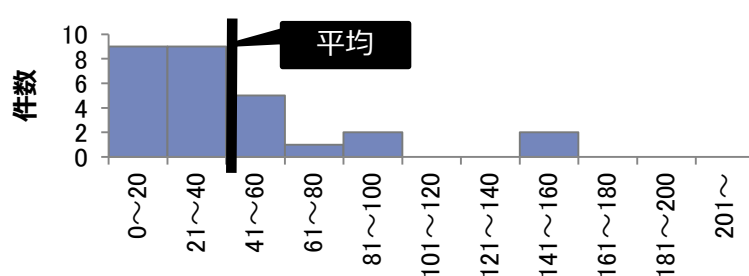
税 : 7件
生活保護 : 20件
児童福祉 : 6件

※括弧内の数字は前年度からの繰越件数

※R3年度は取下げ1件あり

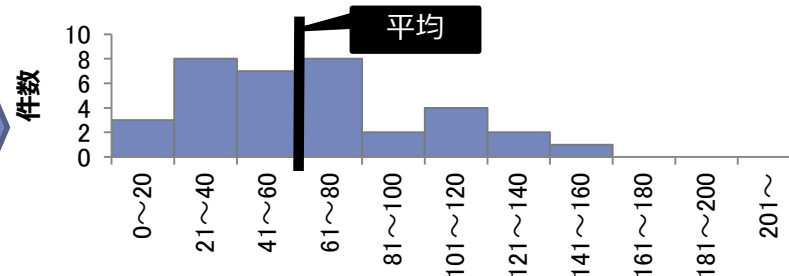
	答申件数	諮問～1回目審議 (平均日数)	1回目審議～答申 (平均日数)	総計(諮問～ 答申平均日数)	1案件 平均審議回数
R2年度	28件	33日	10日	42日	1.2回
R3年度	35件	54日	9日	62日	1.3回

第1部会R2年度答申



諮問収受～答申までの日数

第1部会R3年度答申



諮問収受～答申までの日数

第2部会活動状況

	R1年度	R2年度	R3年度
開催回数	17回	13回	14回
配てんされた件数	26件 ^(11件)	25件 ^(8件)	33件 ^(2件)
答申件数	28件	31件	31件
次年度繰越件数	8件	2件	4件

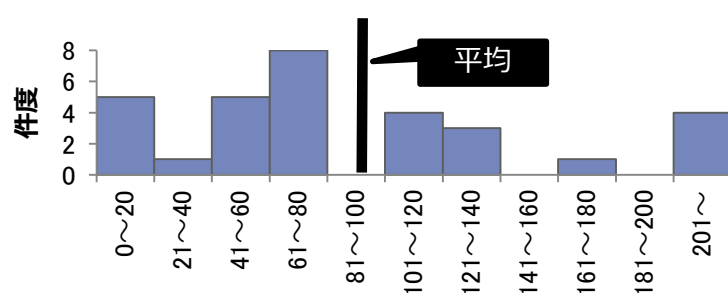
生活保護：22件
精神福祉：7件
児童福祉：1件
その他福祉：3件

※括弧内の数字は前年度からの繰越件数

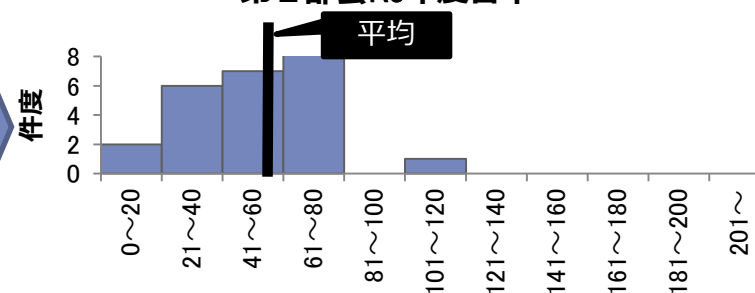
※R1年度は取下げ1件あり

	答申件数	諮問～1回目審議 (平均日数)	1回目審議～答申 (平均日数)	総計(諮問～ 答申平均日数)	1案件 平均審議回数
R2年度	31件	54日	38日	92日	1.9回
R3年度	31件	41日	12日	54日	1.4回

第2部会R2年度答申



第2部会R3年度答申



諮問收受～答申までの日数

諮問收受～答申までの日数

第3部会活動状況

	R1年度	R2年度	R3年度
開催回数	17回	13回	14回
配てんされた件数	34件 ^(6件)	44件 ^(9件)	55件 ^(12件)
答申件数	30件	37件	47件
次年度繰越件数	9件	15件	19件

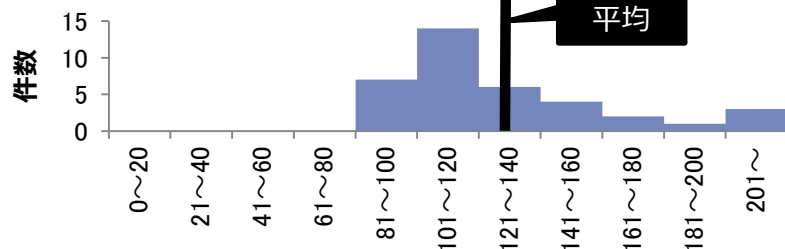
児童福祉：53件
一般：2件

※括弧内の数字は前年度からの繰越件数

※R1～R3年度取下げ各1件あり

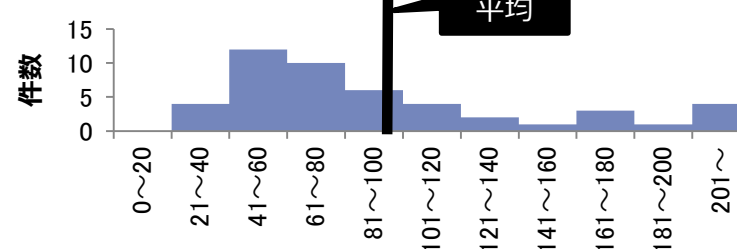
	答申件数	諮問～1回目審議 (平均日数)	1回目審議～答申 (平均日数)	総計(諮問～ 答申平均日数)	1案件 平均審議回数
R2年度	37件	104日	26日	130日	1.7回
R3年度	47件	81日	15日	96日	1.3回

第3部会R2年度答申



諮問收受～答申までの日数

第3部会R3年度答申



諮問收受～答申までの日数

(参考) 裁決の状況、裁決における付言の取扱い

■ 答申後の裁決の状況

(令和3年度答申113件のその後)

- ・ 答申書のとおり : 92件
- ・ 未裁決 : 21件

■ 処分庁への付言の伝達状況 (付言 : 11件) (付言内容の詳細は別紙)

	付言の 対象	付言を 裁決に反映	処分庁に答申書 の写しの送付
R2-17	処分庁	—	○
R2-95	処分庁	○	—
R3-4	処分庁	○	—
R2-144	処分庁	—	—
R2-143	処分庁	(未裁決)	(未裁決)
R2-148	処分庁	(未裁決)	(未裁決)

	付言の 対象	付言を 裁決に反映	処分庁に答申書 の写しの送付
R2-149	処分庁	(未裁決)	(未裁決)
R2-150	処分庁	(未裁決)	(未裁決)
R2-134	処分庁	(未裁決)	(未裁決)
R3-901	審理員	(未裁決)	(未裁決)
R3-902	審理員	(未裁決)	(未裁決)

※行政不服審査法上、審査請求人には答申書の写しが送付されるが、処分庁に渡らない仕組みとなっているため、審査庁に対して、付言の内容が処分庁に伝わるよう配慮を依頼する旨の通知を発出している。